

「知と文化を誇り力強く躍動する関西」 の実現に向けて

平成21年度
近畿圏広域地方計画の推進状況について
－説明資料－

平成22年6月
近畿圏広域地方計画推進室

はじめに

近畿圏広域地方計画

近畿圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき、近畿圏(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)を対象に作成した概ね10ヶ年間の計画であり、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指すものである。関西の府県、政令市、国の関係機関、主な経済団体等からなる広域地方計画協議会の議論を経て、平成21年8月4日に策定された。

本計画では、計画のモニタリングとして、毎年度その推進状況を検証していくこととされている。今回は、計画策定後初のモニタリングとして、関西を取り巻く状況や、主要プロジェクトに係る平成21年度の取組について、近畿圏広域地方計画協議会の構成機関との連携の下、情報を集約し、取りまとめた。(なお、取組内容をより適切に記載するため、一部の取組事例については、平成22年度の取組内容も一部記載することとした。)

協議会構成機関

<府県> 福井県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、徳島県

<指定都市> 京都市、大阪市、堺市、神戸市

<市町村> 近畿市長会、近畿ブロック府県町村会

<経済団体等> (社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(社)関西経済同友会、京都商工会議所、堺商工会議所、神戸商工会議所、関西広域機構

<国の地方支分部局> 近畿管区警察局、総務省近畿総合通信局、財務省近畿財務局、厚生労働省近畿厚生局、農林水産省近畿農政局、林野庁近畿中国森林管理局、経済産業省近畿経済産業局、経済産業省中国経済産業局、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省中部地方整備局、国土交通省中国地方整備局、国土交通省近畿運輸局、国土交通省神戸運輸監理部、国土交通省大阪航空局、気象庁大阪管区气象台、海上保安庁第五管区海上保安本部、海上保安庁第八管区海上保安本部、環境省近畿地方環境事務所

・ 計画のキーコンセプト ・ 「知と文化を誇り力強く躍動する関西」

関西の目指す姿

1. 歴史・文化に誇りを持って本物を産み育む圏域
2. 多様な価値が集積する日本のもう一つの中心圏域
3. アジアを先導する世界に冠たる創造・交流圏域
4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域
5. 都市と自然の魅力を日常的に享受できる圏域
6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域
7. 暮らし・産業が守る災害に強い安全・安心圏域

主要プロジェクトの概要（目指す姿を実現する手段）

1．文化首都圏プロジェクト

多様で厚みのある文化の集積を活かして、我が国を代表し牽引する役割を担う圏域「文化首都圏」の形成を図る。

2．関西の魅力巡りプロジェクト

歴史・文化を始めとする「本物」を最大限に活用し、アジア・世界に通じる関西の観光の魅力向上を図る。

3．次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト

アジア・世界を先導する次世代産業を創造するため、世界最先端の学術・研究開発機能や国内有数の交流拠点機能を備え、才能ある人材が集まる拠点や広域連携による拠点群を「知の拠点」として構築を図る。

4．大阪湾ベイエリア再生プロジェクト

大阪湾ベイエリアを、環境・エネルギー産業が集積し成長する産業拠点として、また、アジアの一大物流拠点として充実を図る。

5．広域物流ネットワークプロジェクト

物流に要する時間と費用の大幅な縮減により関西の国際競争力を強化するため、圏域内外を結ぶ陸・海・空の広域的交通網を総合的に構築する。

6．CO₂削減と資源循環プロジェクト

先進的な低炭素社会の構築に向け、CO₂排出量削減に向けた広域的な取組を、産学官民一体となって推進する。また、3Rによる適正な資源循環の推進や府県を越えた広域連携による廃棄物処理等を推進する。

7．水と緑の広域ネットワークプロジェクト

人と自然のふれあいの確保や水文化の継承を図るとともに、生物の移動経路の連続性、国土保全機能、田園自然環境の再生、原風景の保全等を確保する水と緑のつながりを圏域全体で構築する。

8．関西を牽引する賑わい創出プロジェクト

京都・大阪・神戸・堺の大都市が、それぞれの個性や強みを活かし、関西の成長を牽引する賑わい機能を確保・強化する。

9．農山漁村活性化プロジェクト

都市と農山漁村の共生・対流を推進するとともに、地域資源の再発見と高付加価値化等を推進し、農山漁村の活性化を図る。

10．広域医療プロジェクト

府県の区域を越えた広域連携により医療の高度化・高質化を推進する。

11．広域防災・危機管理プロジェクト

津波、都市部の直下型地震、風水害や高潮等の様々な自然災害に対応し、暮らしや産業等に与える被害を軽減するため、防災・減災対策に取り組むとともに、危機管理体制を確立する。

平成21年度のモニタリング結果と今後の方針

【モニタリング結果】

各地域の多様な個性を活かしながら、**「知と文化を誇り力強く躍動する関西」**を掲げた本計画の実現へ向け、前進している。

《取組の代表事例》

関西の魅力発揮 （文化首都圏P、関西の魅力巡りP）

- ・歴史・文化の蓄積である「本物」の資源を活かした地域の魅力の向上・活用

➡（事例：**平城遷都1300年祭の開幕、関西ブランドの創造に向けた取組、ビジット・ジャパン・キャンペーン**など）

関西の産業・地域力の強化、交通基盤の確保 （次世代産業を創造する「知の拠点」P、大阪湾ベイエリア再生P、広域物流ネットワークP）

- ・進む「知の拠点」の構築 ➡（事例：**大阪駅北地区の整備推進**など）
- ・物流ネットワークの充実 ➡（事例：**第二京阪道路の全線開通**など）

持続可能な地域の形成 （CO₂削減と資源循環P、水と緑の広域ネットワークP、関西を牽引する賑わい創出P、農山漁村活性化P）

- ・環境に優しいエネルギー導入 ➡（事例：**太陽光発電所（メガソーラー）の建設決定**など）
- ・豊かな自然を守る取組 ➡（事例：**魚のゆりかご水田プロジェクト、大和川の水質改善**など）

安全・安心な社会の形成 （広域医療P、広域防災・危機管理P）

- ・府県を越えて広がる医療の連携 ➡（事例：**3府県共同運航によるドクターヘリの導入**など）
- ・関係機関連携による災害対策の展開 ➡（事例：**2府7県の合同防災訓練**など）

【今後の方針】

関西の大きなポテンシャルを活かして、圏域全体としての総合力を発揮できる取組が求められており、今後、引き続き関係機関と連携して本計画の取組を進めていく。

1. 文化首都圏プロジェクト

❖「本物」を育て、開花させ、日本文化の中心となる関西へ

歴史・文化の蓄積である「本物」を活かして、地域づくりの取組が各地で展開され、文化首都圏の形成に大きく前進した。

「平城遷都1300年祭」の開幕

オープニングイベントにより開幕(1月1日)

- ・奈良県内4箇所の会場に約2万2千人が参加
- ・主会場の平城宮跡会場が4月24日にオープン
- ・主会場へ続く大宮通りでは、沿道建築物等の景観を民間の協力を得て整備



オープニングイベント
提供: 奈良県

関連イベントの開催

- ・日中韓3カ国19地方政府による東アジア地方政府会合(平成22年10月6日(火)~8日(金)開催予定)
- ・第1回なら国際映画祭(平成22年8月25日(水)~29日(日)開催予定)



平城宮跡会場(大極殿前)
提供: 奈良県

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」での活動

世界遺産登録5周年記念(三重県、奈良県、和歌山県)

- ・3県共同事業として、首都圏・関西圏におけるフォーラムやウォーキングツアーを開催

一万人の参詣道「環境保全」活動

- ・地域団体、企業、行政等の連携により、ゴミ拾い、落ち葉の除去等の清掃活動、土入れ等の維持補修活動、草刈り等を実施



3県共同首都圏フォーラム
提供: 奈良県



一万人の参詣道「環境保全」活動
提供: 和歌山県

貴重な文化財の保全・保存

世界文化遺産「姫路城」の保存修理

- ・市民からの寄付等の協力も得て、45年ぶりの保存修理を開始



姫路城大天守保存修理 提供: 姫路市

「関西ブランド」の創造に向けて

「関西ブランドセミナー」の開催

- ・歴史文化・環境先進地域・エンターテインメント・知とモノづくりという「関西ブランド」への意識を啓発



関西ブランドセミナー
提供: (社)関西経済連合会

「関西のブランド力向上に関する検討会」の開催

- ・関係機関が集まった検討会でケーススタディを実施

歴史・文化を活かしたまちづくり

歴史的風致建造物の修理

- ・上七軒歌舞練場(京都市)等の貴重な建物を活かす街なみづくりが行われた。



京町家を活用した民宿
(旧長岡家住宅)
(屋根、外壁等修理後)



上七軒歌舞練場
(大屋根、下屋、樋等修理後)

提供: 京都市

2. 関西の魅力巡りプロジェクト

❖いきいきした関西の魅力を世界へ

関西の特徴である歴史・文化を活かして、関西の魅力向上に向けた様々な取組が行われた。

海外からの観光客誘致の取組

ビジット・ジャパン・キャンペーン事業の取組

- ・歴史・文化遺産を活用した観光客誘致等の為、モデルルートづくり、ファムトリップ及びセールスコール等を重点市場国である中国を始め8カ国を対象に国内外で実施



中国現地の旅行会社を直接訪問
してのPR・商談

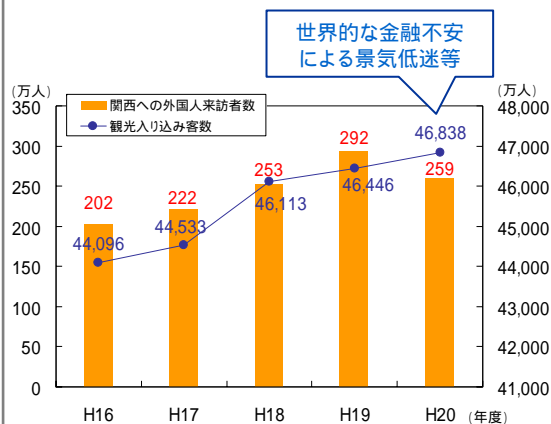


中国・韓国・台湾・香港のメディア
に対する観光資源の説明会(奈良県)



外国メディア(東京駐在)に対する
京都観光地PR(現地説明)(京都市)

提供:近畿運輸局



関西への外国人来訪者数と観光入り込み客数

出典:訪日外客訪問地調査、
国際観光白書、
観光入込客調査

外国人観光客に分かりやすい案内標識へ

- ・外国人に実際に歩いてもらい、主要駅から観光地までの外国語表記の標識等を点検(「ひとり歩き点検隊の実施」)



外国人(欧米・アジア)による案内
表示等の点検の様様(京都市)



点検後に多言語表記に改修され
た案内版(新大阪駅リムジンバ
ス乗り場)

提供:近畿運輸局

山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟に向けた取組

地域の観光資源を活かした取組

- ・世界ジオパークネットワークへ加盟の申請書を提出(H21.12)
- ・ジオツーリズムを推進するため、山陰海岸学習館の野外観察会、ジオスポット現地見学会、ジオウォーク等を開催



玄武岩の玄さん
(豊岡市マスコットキャラクター)



鳥取砂丘の風紋
(鳥取県)



玄武洞での地質見学会
(兵庫県)



高さ20メートル、安山岩で
形成された立岩(京都府)

提供:山陰海岸ジオパーク推進協議会、鳥取県、京都府

通年型・宿泊型観光の取組

嵐山花灯路・東山花灯路の実施

- ・嵐山花灯路(開催日時:平成21年12月11日~20日)
- ・東山花灯路(開催日時:平成22年3月13日~22日)
- ・灯りと花の路、創作行灯デザインコンペ、舞妓と記念撮影、寺院夜間特別拝観等により延べ約200万人を集客



冬の京都の街を彩る嵐山花灯路・東山花灯路



提供:京都市

3. 次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト

❖世界に誇る英知の集積を目指して

アジア・世界を先導する次世代産業の創造や国際競争力の強化を目指して、関西に集積する研究機能や産業等を活かした様々な取組が行われた。

大阪駅北地区の開発

- ・知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)を中核とし、関西が強みとする環境技術やロボット技術など、先端産業分野にかかわる「人」「もの」「情報」が世界中から集積する磁場となる拠点を目標として、整備を推進
- ・平成25年春のまちびらきに向けて、産学官が連携し、科学技術によるイノベーションの好循環を創出する拠点の形成に向けた検討等を推進



大阪駅北地区
提供:大阪市



大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト
提供:大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト開発事業者



環境・エネルギー産業の海外展開支援

ベトナム・ホーチミン市の水道事業への参入可能性を調査

- ・「省水型・環境調和型水循環プロジェクト(NEDO)」の取組として、水道施設のエネルギー消費の現状を含む稼働状況や漏水状況等の調査を集中的に実施し、「省エネ・省水」の観点から、最も効果的なパイロット・プロジェクト案を作成



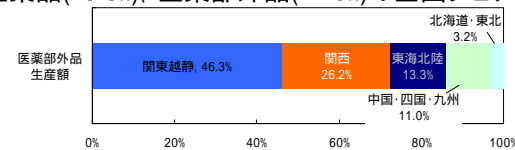
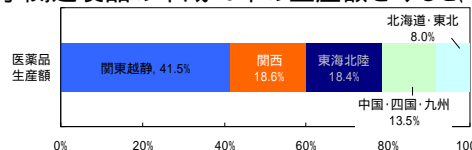
ホーチミン市で現地調査
提供:大阪市

- ・「関西・アジア環境・省エネビジネス交流フォーラム」の活動・タイ及び香港・広州でアジア展開を目指したビジネス交流事業を実施

バイオ・ライフサイエンス

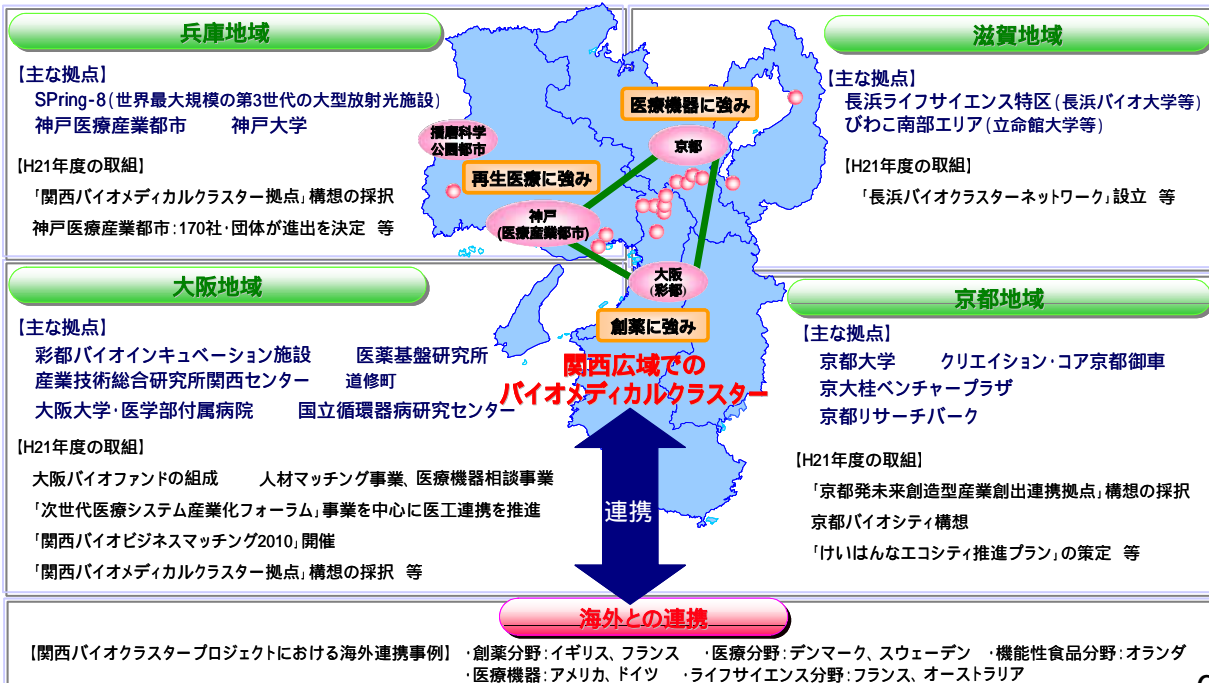
関西における薬事関連製品の生産の特徴

- ・関西の薬事関連製品の平成20年の生産額をみると、医薬品(18.6%)、医薬部外品(27.0%)の全国シェアが高い



医薬品生産額および医薬部外品生産額の地域別構成比 出典:薬事工業生産動態統計年報 関西に福井県を含む

地域ごとの主な拠点と平成21年度の取組事例



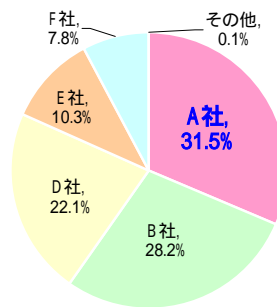
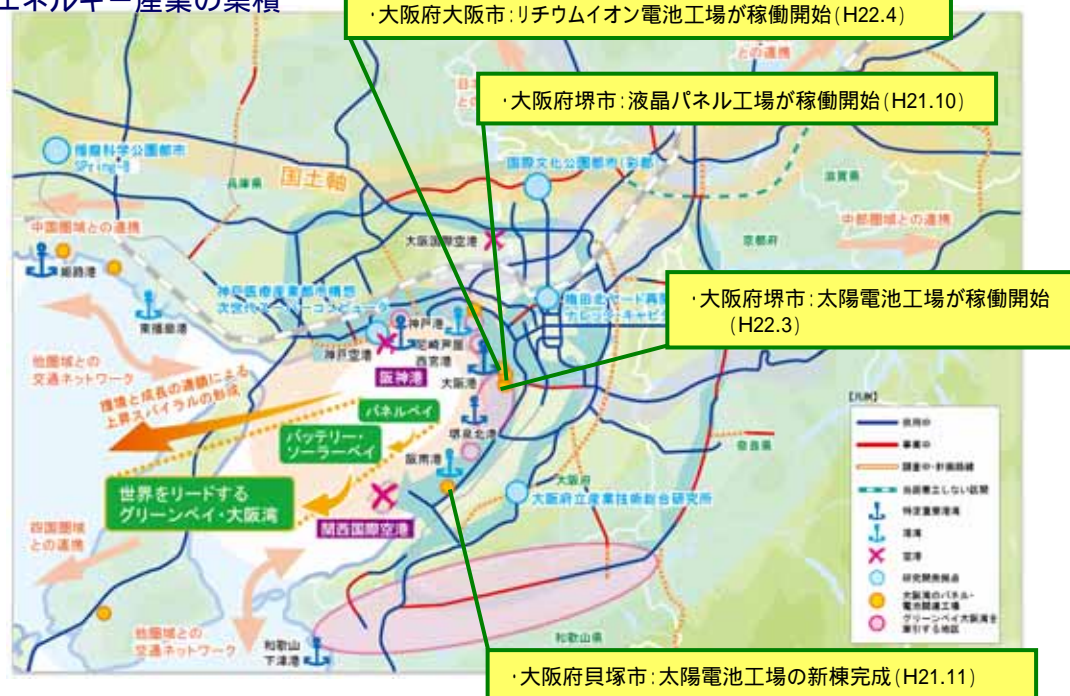
4. 大阪湾バイエリア再生プロジェクト

❖世界をリードする「グリーンベイ・大阪湾」の実現へ

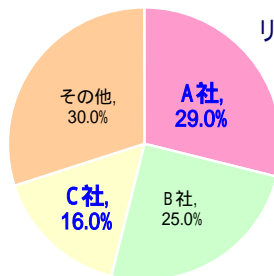
大阪湾バイエリアでは先端産業の集積が進み、阪神港（大阪港）の臨港道路やコンテナターミナルの充実が図られるなど、「グリーンベイ・大阪湾」に向けた取組が進んでいる。

産業の集積（パネル・バッテリー工場の立地）

環境・エネルギー産業の集積



青字：関西企業



青字：関西企業

港湾機能の充実

夢咲トンネル開通（H21.8）
夢洲コンテナターミナル（C-12）供用開始（H21.10）
・3バース一体運用が開始



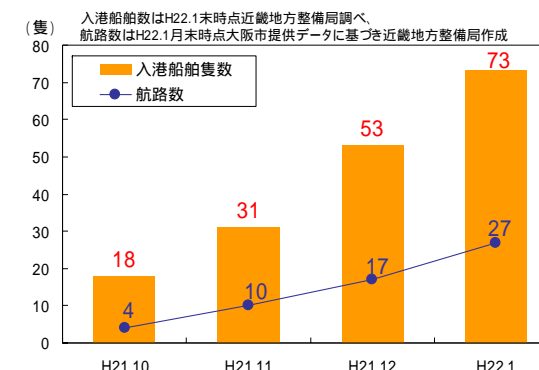
夢咲トンネル

提供：近畿地方整備局



夢洲コンテナターミナル

提供：近畿地方整備局



夢洲コンテナターミナル利用状況

提供：近畿地方整備局

5. 広域物流ネットワークプロジェクト

❖ つながる 広がる 関西の物流ネットワーク

第二京阪道路の全線開通や臨港道路の充実など、広域物流を支える港湾機能の強化や産業・物流拠点を結ぶネットワークの充実・強化が進んでいる。

道路ネットワークの充実・強化

第二京阪道路が全線開通(H22.3.20)により、北河内地域の
国道1号の渋滞状況が改善
・大阪～京都間の国道1号を利用した場合の移動時間が約4割短縮

国道1号中振南交差点の状況

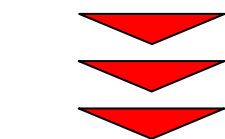
第二京阪道路全線開通前



第二京阪道路
平成22年3月20日開通区間



第二京阪道路(寝屋川市)
提供: 近畿地方整備局



第二京阪道路全線開通後



提供: 近畿地方整備局



【凡例】

高規格幹線道路及び地域高規格道路

- 供用中 (Blue solid line)
- 事業中 (Red solid line)
- 調査中 計画路線 (Orange dotted line)
- 当面着工しない区間 (Green dashed line)
- 東海道 山陽新幹線 (Black line with cross-ticks)
- 港湾 (Blue anchor icon)
- 空港 (Pink X icon)
- 産業団地 (Pink circle icon)
- 近年工業立地 (Orange circle icon)
- 流通センター (Green circle icon)

舞鶴港・多目的国際ターミナルの供用

舞鶴港の多目的国際ターミナルが供用開始
(H22.4)

・舞鶴港の振興や京都府北部地域の産業振興に資することを期待



京都舞鶴港「舞鶴国際ふ頭」
提供: 近畿地方整備局



舞鶴港と外国の航路

提供: 近畿地方整備局

6. CO₂削減と資源循環プロジェクト

❖環境トッランナー・関西を目指して

低炭素社会の構築に向けた取組として、フォーラムやシンポジウム等が開催され、低炭素社会の構築に向けて気運の醸成が図られた。

産学官民一体となったCO₂の削減 （「クールシティ・堺」の実現）

クールシティ・堺の実現を目指した活動

- ・「堺市環境都市推進協議会」の設立(H21.5)
- ・堺第7 - 3区の産業廃棄物埋立処理場に国大最大級(10MW)の太陽光発電所(メガソーラー)の建設を決定(H22.11一部運転開始予定)
- ・堺第7 - 3区において「共生の森・SAKAIクールダム植樹」実施(H21.11)

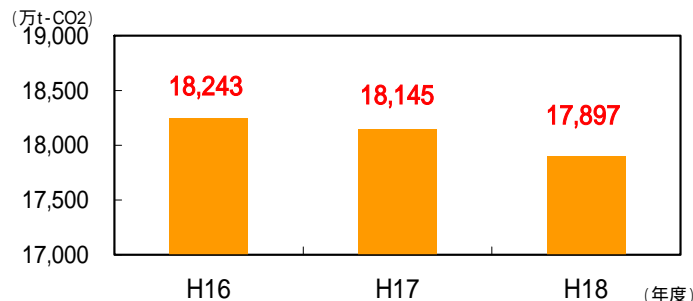


メガソーラーイメージ図



共生の森 将来イメージ図 提供:堺市

- ・関西(2府4県)の温室効果ガスの排出量は平成18年度実績で17,897万t-CO₂
- ・前年度に対して248万t-CO₂減少



関西の温室効果ガスの排出量(関西2府4県の合計値)

出典:滋賀県における温室効果ガス排出量について;滋賀県、京都府環境白書平成20年度版;京都府平成20年度版大阪府環境白書;大阪府、平成20年度版環境白書;兵庫県奈良の環境白書;奈良県、和歌山県環境白書;和歌山県

フォーラム、シンポジウム等の開催

- ・平成22年2月14日に、国立京都国際会館において「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式(参加者1,000名)、「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム(参加者1,000名)を開催。
- ・低炭素社会の構築に向けての気運の醸成が図られた。



「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式



「京都環境文化学術フォーラム」
国際シンポジウム 提供:京都府

資源循環の推進(こうべバイオガス)

下水処理の過程で発生するガスのうち、下水処理施設内で使用しない余剰ガスを精製し、天然ガス自動車用燃料として利用。

- ・平成22年3月末時点
利用登録台数: 122台
延べ充填回数: 12,550回



「こうべバイオガス」を活用した市バス

提供:神戸市

7. 水と緑の広域ネットワークプロジェクト

❖取り戻す清流、みんなでまもる緑

大阪湾や琵琶湖・淀川流域圏での水環境の再生に向けた様々な取組や緑のヒンターランドの保全に関する取組が進められている。

水環境の再生

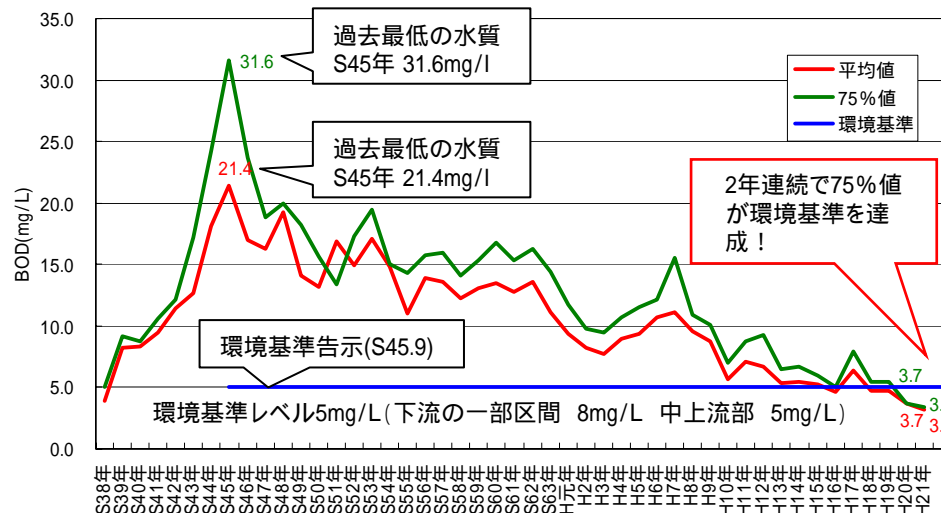
水質改善に向けて、市民、企業、自治体、府県、国が連携し流域全体で推進(大和川の水質改善)

- ・観測史上最もきれいな水質を昨年に引き続き2年連続で更新。
- ・昭和45年に比較して平成21年はBOD75%値が約1/9、BOD年平均値が約1/7に改善。
- ・また、平成22年2月には大和川流域で生活排水対策社会実験を1週間実施。



市民協働の水質調査

提供: 近畿地方整備局



ようやく環境基準レベルにまで改善した水質(BOD値)

出典: 大和川の平成21年水質結果報告(速報版); 近畿地方整備局

「魚のゆりかご水田プロジェクト」

- ・琵琶湖と水田との間を魚が行き来し、産卵繁殖していた状態を回復させ、生きものと人々でにぎわう農村づくりを目指す取組。魚のゆりかご水田の面積は、平成18年度の約40haから平成21年度には約111haまで増加



魚のゆりかご水田プロジェクト(イメージ図)



魚道設置による田んぼと水田の落差解消

提供: 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会(滋賀県)

「緑のヒンターランド」の保全

関西各地で、住民、NPO、企業、行政等が協働して植林、間伐等を実施

- ・平成21年度の森林ボランティア団体数
全国: 2,677団体、関西: 383団体(全国の約14%)



提供: 奈良県



提供: 和歌山県

森林保全作業

イタセンバラの野生復帰

- ・淀川のワンドでは平成18年度から稚魚が確認されていないイタセンバラについて、野生復帰させるため試行的に再導入を実施し、その効果を調査検討



淀川におけるイタセンバラの保全・再定着

提供: 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

8. 関西を牽引する賑わい創出プロジェクト

❖人が賑わい活気に溢れた街、元気な関西へ

各都市の魅力を活かした、関西活性化のための取組が行われている。

「水都大阪2009」の開催

「川と生きる都市・大阪」をテーマに、「水都大阪2009」を開催

・基本コンセプト:

水都大阪の魅力を創出、世界に発信

「市民が主役となる、元気で美しい大阪づくり」

「開催効果が継続し、都市資産や仕組みが集積されていくまちづくり」

・開催時期: 平成21年8月22日～10月12日

・来場者数: 約190万人

・開催前から開催期間中まで企画・運営等の参加者数: 約7万9千人

・主な会場: 中之島公園・八軒家浜、水の回廊エリア等

・主なプログラム:

近代建築をはじめ川や橋梁などを巡る水都アート回廊

アーティスト工房や体験型アートプログラム

灯りで会場を埋め尽くすプロジェクト

船着場での朝市やリバーマーケット

船と水辺を組み込んだまちあるき 等



水都大阪2009 提供: 大阪市

京町家の保全・再生

京町家まちづくりファンド

・市民、企業等から広く寄付を募り、その運用益等を活用して良好な町並み景観を形成する京町家の改修に対して助成する基金。



京町家の改修例 提供: 近畿地方整備局

「平城遷都1300年祭」での賑わい

「平城遷都1300年祭」
春季フェア

・開催期間: H22.4.24～5.9

・来場者数: 54万4千人

・5/31には累計100万人突破



朱雀門周辺の賑わい
提供: 近畿地方整備局

春季フェア開催期間中、
奈良県内各地の観光客も増加

観光入り込み客数(対前年同期比)

奈良市: 奈良公園(154.4%)、国立博物館(123.8%)

桜井市: 長谷寺(163.8%)、宇陀市: 室生寺(117.6%)

県内宿泊観光客数が25%程度増加

「淡路花博2010花みどりフェア」 の開催

・兵庫県淡路島で、平成22年3月20日から5月30日まで、「花みどりフェア」を開催。

・300品種60万本のチューリップ等で会場を彩り、入場者数は約219万人。



淡路花博2010花みどりフェア
提供: 近畿地方整備局

デザイン都市・神戸に関する取組

「ユネスコ・デザイン都市フォーラム in KOBE」の開催

・国内外のユネスコ・デザイン都市の5都市を招聘

旧神戸生糸検査所を「(仮称)デザイン・クリエイティブセンターKOBE」として活用

・平成22年4月に検討委員会から報告書の提出

都心・ウォーターフロントの活性化の取組

・研究会から提言「港都・神戸の創生」の提出

「神戸プラージュKOBE Plage 2010」の開催

・平成22年7月17日(土)～8月31日(火)に開催予定



都心・ウォーターフロント
(突堤部 将来イメージ～研究会提言「港都・神戸の創生」より)

提供: 神戸市

中心市街地活性化 に向けた取組

琵琶湖ウォーターフロントの賑わいの創出

・湖岸公園に官民協働によりオープンカフェ「なぎさのテラス」を整備



大津市・なぎさのテラス
提供: 大津市 11

9. 農山漁村活性化プロジェクト

❖ 地方が支えるふるさとの魅力発見

都市と農山漁村の共生・対流を進める取組など、農山漁村を活性化する様々な取組が行われた。

都市と農山漁村の交流

過疎地域と都市部との交流による持続可能な地域社会の構築を図る取組

- ・地域資源の掘り起こしや新たな体験メニューの開発
- ・農林製品のブランド化
- ・受入地域の人材育成



日本の原風景が残る十津川村神納川地区



おばあちゃんに村の伝統文化を習う
(体験モニターツアー)

提供: 奈良県

都市農村交流人口の拡大を図る取組

- ・「オーライ！ニッポン和歌山シンポジウム」や「農村都市交流イベント09」で都市農村交流に関するパネル等を展示
- ・「都市農村交流現地研修会」等の開催を通じ、都市農村交流等の普及啓発活動を実施



オーライ・ニッポン！
和歌山シンポジウム



農村都市交流イベント09



都市農村交流現地研修会

提供: 近畿農政局

「ジビエ料理」の開発等の取組

- ・各種プロジェクトや講習会を開催し、鹿肉や猪肉の知名度がアップ
- ・猟友会、処理施設設置者等による連絡会議と県が連携して、ジビエで地域おこしを推進



鹿料理レシピ集

提供: 京都府



地場産猪肉と長寿柿の
赤ワイン煮込み

提供: 和歌山県



ジビエ衛生管理ガイドライン講習会

提供: 和歌山県

小規模集落元気作戦

- ・人口が減少し、高齢化が進んだ小規模な集落を対象に、交流をキーワードとした集落再生への取組を支援するモデル事業を展開。



小規模集落元気作戦

提供: 兵庫県

高齢者のICTスキルの向上

- ・地域の情報交流拠点となるサロンを田辺市の旧町村4カ所に設置
- ・運営を委託したNPOによる週1回のアドバイザーによる機器活用の技術指導



アドバイザーによる技術指導状況

提供: 和歌山県

10. 広域医療プロジェクト

❖ 府県を越える安心の連携

3府県でドクターヘリを共同運航する取組など、医療について府県の区域を越えた広域連携の取組が進んでいる。

3府県共同運航によるドクターヘリの導入

- ・兵庫県、京都府、鳥取県及び公立豊岡病院組合の4者による運航協定書を締結
- ・ドクターヘリ運航調整委員会を開催し、運航要領を作成
- ・消防、警察、医療機関等関係機関との連携を強化し、ドクターヘリの離着陸が可能で救急車(患者搬送車)との合流が可能な離着陸場所の確保
(京都府:173ヵ所、兵庫県:122ヵ所、鳥取県:66ヵ所 計361ヵ所)
- ・公立豊岡病院で、運航司令室等设备、搭載用医療資機材などを整備
- ・平成22年4月17日運航開始

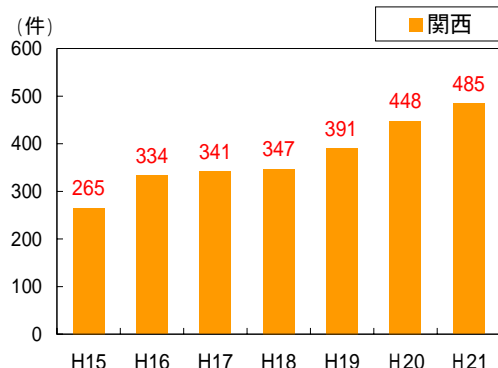


3府県(兵庫県・京都府・鳥取県)
共同ドクターヘリ



3府県共同ドクターヘリの就航式
提供: 兵庫県

・ドクターヘリの出動件数は、平成21年度実績で485件



ドクターヘリの出動件数

出典: ドクターヘリ出動実績
; 日本航空医療学会

産官学連携による先端医療に向けた取組

熊取アトムサイエンスパーク構想

- ・中性子がん治療の実用化に向け、産学官が連携し、「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)研究会」(事務局: 大阪府、熊取町、京都大学)を設置
- ・現在、からだにやさしい究極のピンポイントがん治療「ホウ素中性子捕捉療法」の早期実用化を目指して、京都大学原子炉実験所を中心とした共同研究グループが研究中



BNCTに適した強度の中性子を発生
させることのできる小型加速器



京都大学原子炉実験所

提供: 大阪府

神戸市の「健康を楽しむまちづくり」に関する取組

- ・タッチパネルPCを用いた「抑うつ改善プログラム」の調査研究(開発)
- ・ウォーキングイベント「こうべ健康ウォーク」の開催による日常で気軽に取り組める健康づくりとまちの魅力再発見のきっかけづくり



タッチパネルPCを用いた抑うつ改善プログラム



提供: 神戸市

11. 広域防災・危機管理プロジェクト

❖もしもの時こそ頼れる安心、関西の広域防災・危機管理

広域防災・減災対策として、2府7県他関係機関との合同防災訓練など、関係機関との連携による様々な取組が行われた。

TEC-FORCEの出勤

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の出勤

- ・平成21年8月の兵庫県佐用町の豪雨被害等について、緊急的に現地調査を実施し、早期本格復旧に向けて技術的支援
- ・助言を行うため、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を近畿地方整備局から現地へ派遣



佐用川右岸洪水痕跡調査状況



佐用川右岸被災状況

TEC-FORCE隊員による現地調査

提供：近畿地方整備局

河川改修の効果

円山川の河川改修の効果

- ・平成21年8月の台風9号の影響による円山川の洪水では、集中的に実施した河川改修により、河川の水位を大幅に下げたことが確認



撮影 平成21年8月10日AM6:15
(立野地点最高水位AM5:20)



平成21年8月9日(台風9号影響)洪水における円山川の河川改修

提供：近畿地方整備局

2府7県の合同防災訓練

- ・福井県嶺北北部を震源とする大規模地震を想定し、2府7県(福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県)が参加する合同防災訓練を実施
- ・各府県消防会による緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練も同時に開催し、初動時の情報伝達、緊急参集をはじめ、災害対策本部立ち上げによる図上訓練、道路警戒、埋没車両救出、ライフライン復旧などの実働訓練を実施
- ・警察、自衛隊、国土交通省、海上保安庁など多くの関係機関とも訓練参加し、災害対応における相互の連携を確認



2府7県合同防災訓練



提供：福井県、近畿地方整備局

その他の危機管理体制の確立に向けた連携

「大阪湾における港湾活動BCP検討委員会」の開催

- ・災害発生の事前に協議・調整しておくべき重要な課題・発災時の対応について議論
- ・「災害時における調査の相互協力に関する協定」
- ・大規模災害に備えて、近畿地方整備局、(社)土木学会関西支部、(社)地盤工学会関西支部、(社)日本地すべり学会関西支部、(社)砂防学会が締結
- ・被害拡大防止、被災施設の早期復旧及び学術的見地からの防災技術の向上が期待
- ・「京阪神都市圏広域防災拠点整備協議会」を開催
- ・関西地域に広域の大規模災害が発生した際の京阪神都市圏の基幹的広域防災拠点の整備等について議論